

福島県家庭教育応援企業等推進活動報告書

企業名	有限会社 川俣クリーンホープ			
実施項目	* 取り組まれた活動に○を付けてください。			
	項目	実施に○	具体的な取組	
	職場の家庭教育推進			家庭教育に関する資料等を配付した。
				家庭教育に関する学習会等を開催した。
				「家族の日」や「家庭の日」を普及・啓発し、家族の団欒の日として、職場の行事等への実施を控えるように努めた。
	生活習慣を向上させる取組			家庭において、子どもが早寝早起きをし、親子で朝ごはんをとるように働きかけた。
				家庭において、親子でラジオ体操や運動を行うように働きかけた。
	学校行事への参加促進			参観日等の学校行事に参加することができるように働きかけた。
				休暇を取りやすい職場の雰囲気作りに努めた。
	職場見学・体験の実施			子どもに、親の働く姿を見せたり、親の仕事を体験させたりした。
				地域の子ども達に、職員の働く姿を見せたり仕事を体験させたりした。
	学校との協働活動			学校の環境整備活動に参加した。
		○		学校に出向き、子ども達の学習（社会科・総合・学級活動等）に協力した。
	地域行事への協力・支援			地域の子ども達の放課後の居場所づくりや体験学習に協力した。
				親子で参加できる行事やレクリエーションを実施した。
			地域の親子が参加できる行事やレクリエーションを実施した。	
			企業等が取り組む社会貢献活動に職員が家族ぐるみで参加した。	
			子どもが参加する地域の行事等に、企業等の施設を活動場所として提供した。	
その他（ご記入ください）			子どもが参加する地域の行事等に、職員を指導者又は運営者等として派遣した。	
			[]	

具体的な取組状況

川俣町立福田小学校を訪問して課外授業を2回実施しました。

第1回目は、6月11日（金）に、4、5年生に「きれいな町にするために」をテーマにした学習を行いました。今回は、ゴミ収集の様子を実際に見ていただき、ゴミを分別すること、指定日の決められた時間に出すことの必要性を説明しました。また、普段は見ることのできない収集車のボックスの中や様々な安全装置などを見ながら、知的好奇心をくすぐられた子どもたちからは、たくさんの質問が出されました。自分たちが想定もしていない質問が多く、子どもたちとの視点の違いを感じることができて楽しい時間を過ごしました。

『収集車の臭いちょっと臭かった』



『車の中ってこんな感じなんだね』



第2回目は、子どもたちが、伊達衛生処理組合の処分場の見学後に、10月18日（月）に4年生の社会科の授業の中で、ゴミの分別の必要性を学ぶ特別授業を行いました。

ガラス瓶を色ごとに処理するダンプトラックの仕組みを見たり、ペットボトルとプラゴミの正しい分別方法を実物を使って説明し、ゴミの分別に対する子どもたちの理解が深まったのではないかと思います。今回は、ゴミ処理場見学との相乗効果で、ゴミの分別を自分たちの生活と関連させて考えることができた貴重な時間となっていれば幸いです。

※○を付けた取組について、具体的な内容が分かるように文章及び写真等を挿入し、記載してください。参加者の感想など、参考資料があれば添付してください。